

スピリチュアル物語

49話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「じゃあ人は自分を知る為に生まれてくるのかい?」ウイザットが問う。「そうじゃ。人間は自分というものを通してしか、宇宙の真理を知ることが出来ない。己を通してそれを如何に知るか、という事に生まれてきた深い意義がある」マグワートが、己というところで右手を胸に当てた。「でも、そんなこと毎日考えて生きている人なんて居ないわ。特に子供は、今日のおやつは何だろうとか、今日は何して遊ぼうとか、そんなことしか考えてないものよ」マジョリアルが反論する。「確かにそうじゃ。それは子供の心が未発達だからじゃ。心が未発達だとどうしても自己中心性になってしまう」

「つまり子供は自己チュウということね」「いやいや、自己チュウと自己中心性は別物じゃ。個人差はあるが、7歳位までの子供は、自分を客観視することや、自分と他者には違う考えや気持ちがあるということを理解出来ないという説がある。つまり、自分が感じていることを相手も当然感じている、自分が考えていることを相手も同じ様に考えている、と捉えておる。自分が楽しいだと相手も楽しい、同じだと思っているんじゃない。とは言え、それを自覚しているのではなく、他者の立場に立つというスタンスさえないんじゃない。つまり、自分の視点からしか物事を見られない。それを自己中心性

と言うんじゃない。それは子供の特性であるので、それが悪いとか、子供が人間として劣っているとかいう意味ではないぞ。心の発達段階での話じゃ」
「それは子供だけかい? 大人でも、相手も自分と同じ様に考え、同じ様に感じないといけないと思っている人は多いぜ」
「そうじゃな。それは自己中心性というよりも、価値観の問題じゃ。そのことに関してはまた次回話すとしてしよう」



★これまでのお話(1~48話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 12月15日号につづく!

*生活習慣病が全てBMIや適正体重により判断出来るという意味ではありません。